

札幌東商高会計ビジネス科の7人 各々の進路に生かして

建設業経理士2級に合格！

札幌東商高（逢見稔 副校長）会計ビジネス科三年生七人が、建設業経理士検定二級に合格、このほど合格証が授与された。札幌市内の高校生では同校の七人のみが受験。全員が合格となる快挙を成し遂げた。指導に当たった同校の新谷弥教諭も「それぞれの進路

に生かしてくれれば」と喜んでい

る。建設業経理士資格は、一般財団法人建設業振興基金が行っている検定試験。公共事業に参加しようとする企業が受審しなければならない経営事項審査において、同資格者を評価しており、建設業経理事務では重

要な資格となっている。

今回の検定では全国で七千六百二十三人が受験。合

格者は二千七百七十六人で合格率は三五・一％と狭き門となっている。また、全

国で高校生は六十三人が受験し、四十三人が合格、六八％の合格率だった。

七人は「東京オリシビックの開催などもあり、将来建設業関連の就職も視野に」と、こ

とし二月から本格的に合格証を手に、笑顔を見せる7人



勉強をスタート。それまで、簿記の勉強も積極的に

行ってきたこともあり、全員が合格した。

同校簿記部に所属し、今回の検定のリーダー役もつとめた香川来花さんは「全員合格できてはっとしている」と話し、「大学に行っ

て公認会計士を目指したい。簿記の仕事にかかわりたい」と抱負。

小笠原京香さんは「手応えはあったが不安だった。全員で勉強してきたので皆で合格できてうれしい」と笑顔を見せた。大学に行っ

て、管理栄養士の資格を取りたい。フードマイスターの資格も取り、簿記の資格も生かして起業したい」と、将来を見据えており、現在は六月に行われる日商簿記一級の合格を目指しているという。

指導を担当した新谷教諭は「皆で図書館に集まり勉強していた努力が表れた結

果。それぞれの進路においても、自信をもって生かしてほしい」と語っている。